

専念寺通信

6月号 (NO.178) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

6月になりました。今年の梅雨は昨年のように大雨になるのでしょうか。気がかりな空模様です。

☆施餓鬼会法要

5月31日、190名の檀家さまをお迎えして施餓鬼会法要が行なわれました。天気予報では昼から雨とのことでしたが、おかげ様で快晴に恵まれ、10時の受け付け開始よりずっと早くから檀家さまが続々とおいでになりました。定刻、大玄関内の喚鐘が打ち鳴らされ、浄土宗東京教区の住職7名と、当山、専念寺の住職の読経が始まりました。



本堂内、テント席、そして書院にも大勢の檀家さまがお入りになり、法要に参加なさいました。45分の法要の最後に住職が皆さまにご挨拶させて頂き、「同唱十念」を声を合わせてとなえ、無事に今年の施餓鬼会は終わりました。法要が終わりますと皆さま、お塔婆を手に墓地に向かわれます。きれいに洗われた墓所に供花、そしてこちらからの祈り

のメッセージとしてのお塔婆、それらがそろると、専念寺の墓地全体が、清浄な素晴らしい空間になります。今年は、墓地のほうきや柄つきたわしを増やし、手縫いの雑巾も増やしました。また、書院にあがる階段の設置のほか、昨今の暑さを考え、暖かいお茶のほか麦茶を多くご準備し、冷たい麦茶の飲むテーブルを外に設置し、追加しました。もしも「この部分をこうして欲しい」などがございましたらいつでもお知らせ下さいますよう・・・。

書院でお弁当を召しあがる方、テント席で、久しぶりに再会したご兄弟一同で召し上がる方、そのような姿を見すると、一年に一度、このように檀家さまのほとんどすべてが出席下さるこの大法要の持つ、役割の大きさや深さが分かります。亡くなった人だけでなく生きているすべての存在のために心を合わせて祈ったあとだからこそ湧き上がる思いがあると感じました。皆さまの明るい晴れやかな表情に接し、私共も充実した気持ちを経験させて頂きました。

午後には、欠席された方のお塔婆を一本、一本、それぞれの墓所に立てさせて頂きました。

これから夏に向かいます。最近、ゲリラ豪雨、猛暑日、熱中症、など、かつて無かった言葉がふつうに使われるようになりました。皆さまくれぐれもお身体を大切になさってくださいませよう。また、7月のお盆でお目にかかれますまで。

平成27年6月1日 大黒

